



**LegalOn**  
**Technologies**

## 会社概要

## 生成AIのプロダクト活用

- ① 「LegalForce」 条文修正アシスト機能
- ② 意思決定プロセスマネジメント

## 最後に

# 会社概要

# 法とテクノロジーの力で、 安心して前進できる社会を創る。

株式会社LegalOn Technologiesは、弁護士の法務知見と自然言語処理技術や機械学習などのテクノロジーを組み合わせ、  
契約業務のイノベーションを推進するサービスを開発・提供しています。



**LegalOn**  
**Technologies**

会社名	株式会社LegalOn Technologies (英語名LegalOn Technologies, Inc.)
設立	2017年4月21日
従業員等	505名 (役員含む/2023年5月時点)
資本金	178.5億円 (資本準備金等含む/2022年6月時点)
所在地	〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント6階



代表取締役執行役員CEO

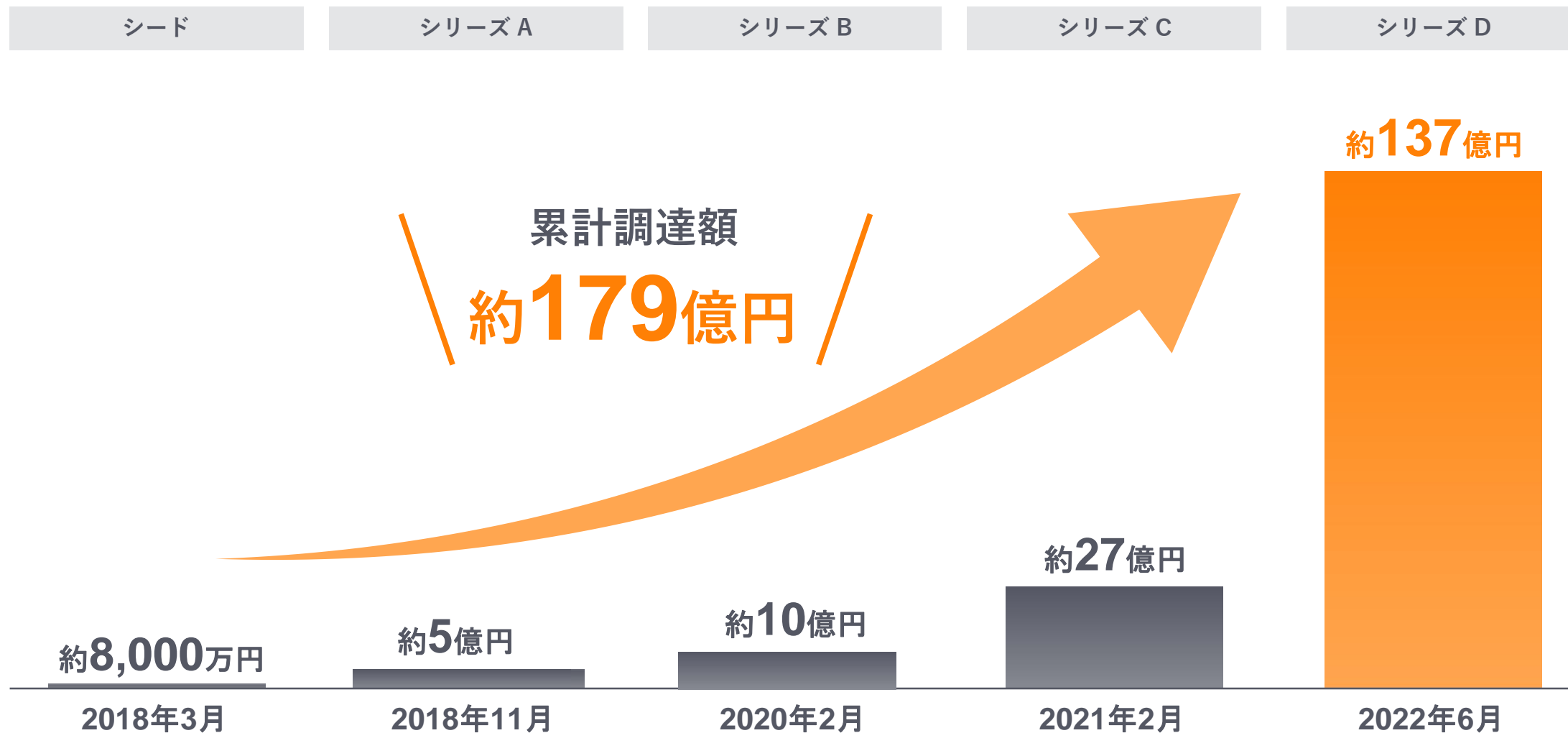
角田 望

Nozomu Tsunoda

経歴

- 2010年 — 京都大学法学部卒業
- 2010年 — 旧司法試験合格（論文全国1位）
- 2012年 — 弁護士登録（第二東京弁護士会所属）
- 2013年 — 森・濱田松本法律事務所
- 2017年 — 株式会社LegalForce/ 法律事務所ZeLo創業

## LegalOn Technologiesの事業フェーズ



# LegalOn Technologiesサービスの紹介

弁護士の法務知見と自然言語処理技術や機械学習などのテクノロジーを組み合わせ、2つのサービスを開発・提供。



## AIで契約審査をサポート

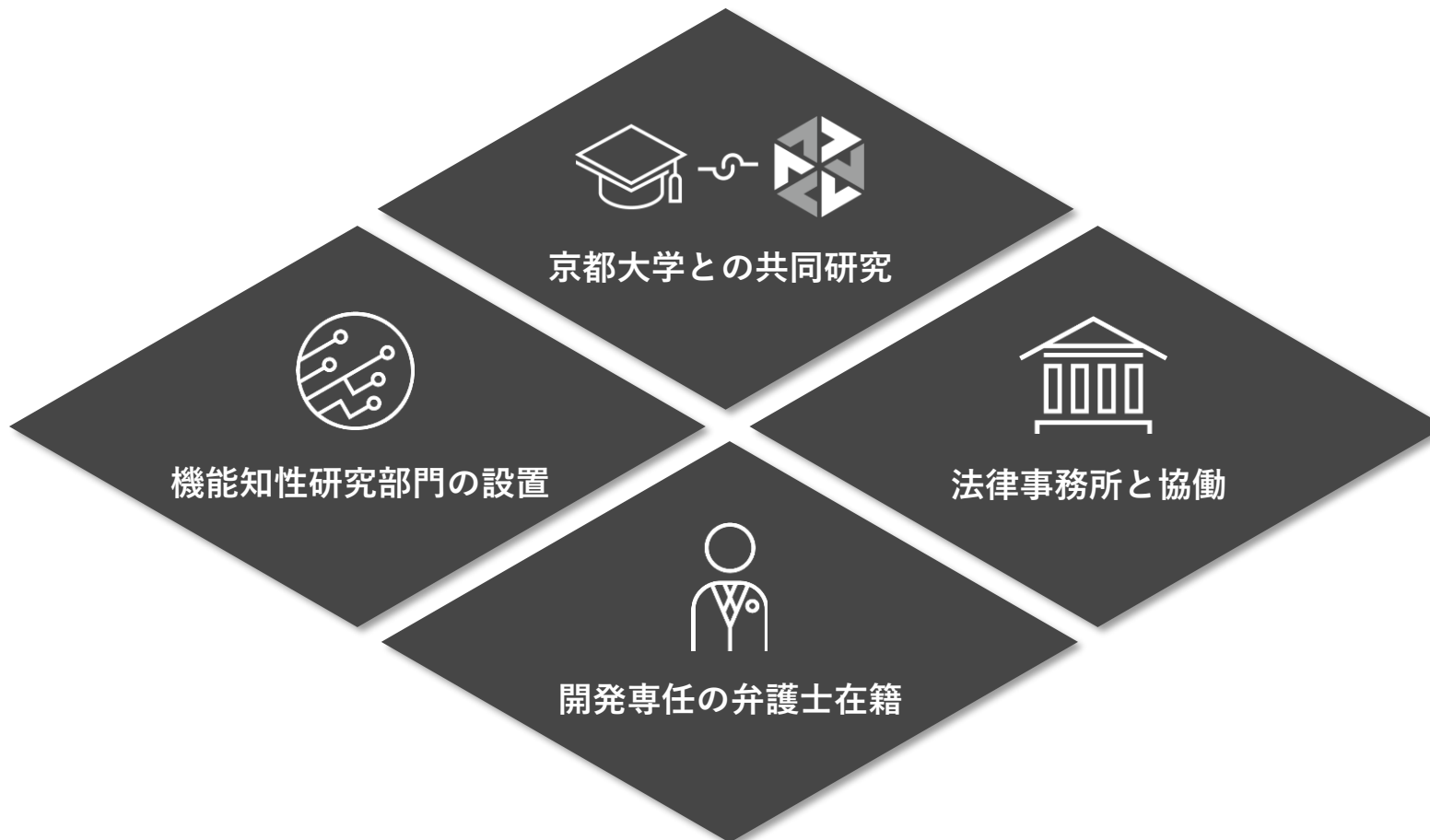
契約審査の質の向上と効率化を実現



## AIで契約書管理

契約書情報を認識し、管理台帳を自動作成

# 契約業務支援ソフトウェアの開発に特化した体制





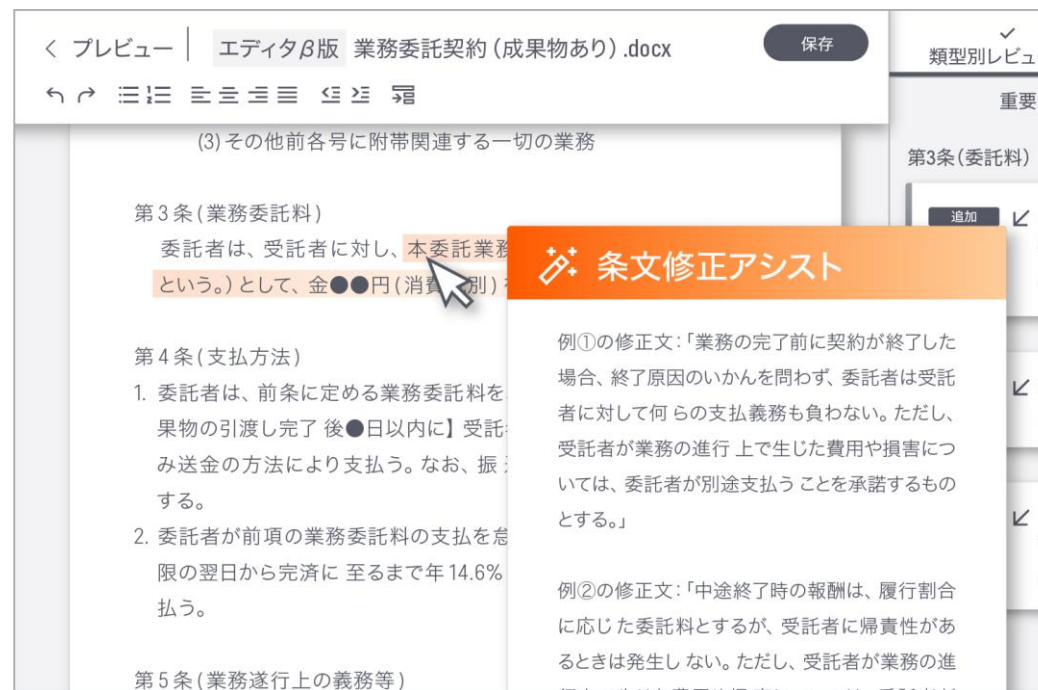
生成AIのプロダクト活用：

①LegalForce条文修正アシスト機能

# 「ChatGPT」を活用し、契約書の条文に沿った修正案の作成をサポート

「ChatGPT」を活用し、契約書の修正作業をサポート。自動レビュー結果のチェックポイントに含まれる情報をベースに、契約書の条文にそった修正案が自動で表示され、参照しながら修正ができます。

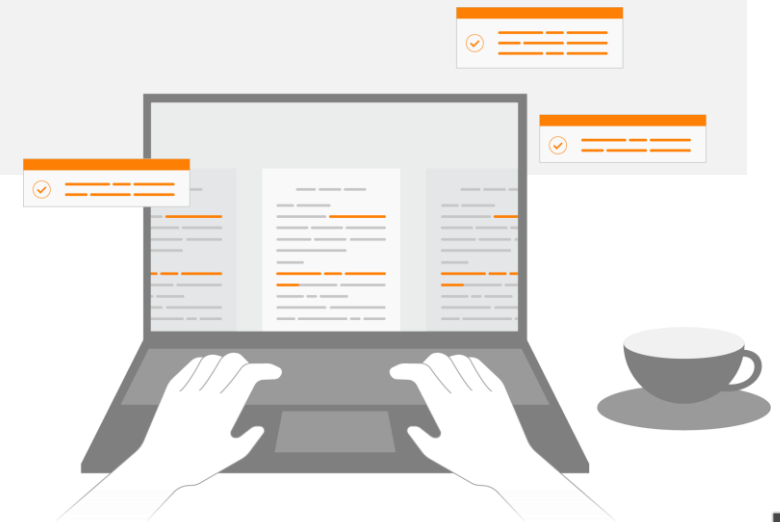
- ✓ 契約書の条文に沿った修正案が自動で表示
- ✓ 参照して契約書を修正



## 条文修正アシスト機能の特長

---

「ChatGPT」を活用し、当該契約書の内容を一定程度反映した文案を表示することで、企業の法務担当者や法律事務所の専門家が修正文案の検討にかかる労力や時間の軽減を支援できる。



## 条文修正アシスト機能を搭載する際のハードルと解決策

### 利用規約

- ☑ 既存の利用規約の変更はせず、オプション機能として設計  
同意書に同意いただいた顧客にのみ提供

### 信頼性

- ☑ Azure OpenAI ServiceのChatGPT APIを利用

### 精度

- ☑ 弊社弁護士によるチェック

### セキュリティ

- ☑ データ保持のオプトアウト申請

## 条文修正アシスト機能、搭載後の成果

数百社以上の企業にご活用いただいています！

### 顧客からの声



修正文案が自動で出てきたことに正直驚いた。

表示された修正文案については、そのまま使えるものもあり便利さを感じた。



いち早くGPTをシステムに応用したのは本当にすごい。刺激を受けた。

生成AIのプロダクト活用：

②新プロダクト「意思決定プロセスマネジメント」

# 意思決定プロセスマネジメントシステムとは

経営と現場の意思決定において「見える」「伝わる」にINNOVATIONを起こし、「チームが動く」新しい意思決定プロセスマネジメントシステムを創造し、企業の成長を支援するプロダクト。

The interface is divided into two main sections. The left section, titled '課題一覧' (Topic List), displays three items:

- 融資金額の検討の件** (Topic: Review of financing amount)
  - 担当者: [redacted]
  - 重要度: 3/5 (3 red hearts)
  - 会議名: 経営会議 (Meeting Name: Board Meeting)
  - 2023/00/00 12:00
- 決算報告と将来の見通し** (Topic: Financial report and future outlook)
  - 担当者: [redacted]
  - 重要度: 5/5 (5 red hearts)
  - 会議名: 経営会議 (Meeting Name: Board Meeting)
  - 2023/06/27 12:00
- 新製品の事業戦略について** (Topic: Business strategy for new products)
  - 担当者: [redacted]
  - 重要度: 4/5 (4 red hearts)
  - 会議名: 経営会議 (Meeting Name: Board Meeting)
  - 2023/06/24 12:00

The right section shows a vertical timeline of stages:

- 完了** (Completed) - Indicated by a dashed arrow pointing up.
- 次の会議** (Next Meeting) - Two cards with '起案する' (Propose) buttons.
- 現在** (Current) - Indicated by a solid red line and a red circle.
- 結果決議** (Result Decision) - A card for the '決算報告と将来の見通し' meeting, dated 2023/06/27 12:00, with a 15-minute duration and 'IT' icon.
- 結果再審査** (Result Re-evaluation) - A card for the '融資金額の検討' meeting, dated 2023/06/24 12:00, with a 15-minute duration and 'IT' icon.

A '+ 追加で起案' (Add proposal) button is located between the '次の会議' and '現在' stages.

▼プレスリリース



## このプロダクトで解決できること



意思決定プロセスの  
記録、保管、検索を

### 一元管理

意思決定までの事前準備、情報のやり取り、議論の経緯や議事録が記録として残り、簡単に検索できる



最先端の技術を活用した

### 効率化や 自動化の実現

ChatGPTによる起案書、議事録要約や問い合わせの回答などを自動生成ができる



決議内容の

### 伝達と確認

意思決定後の関係者への情報やタスクの伝達ができる。伝わったかどうかの確認やPUSH、リマインドができる



法とテクノロジーの力で、  
安心して前進できる社会を創る。



[legalontech.jp](https://legalontech.jp)